

おうちピオトープ大作戦!

～家庭でできるピオトープのすすめ～

自宅の庭、マンションのベランダの片隅等で手軽にできて、チョウ、トンボ、野鳥たちの休憩場所や通り道を作ってあげる「おうちピオトープ大作戦!」にぜひご参加ください。



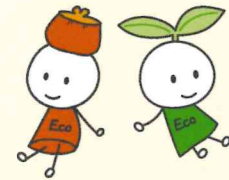
ベランダでピオトープ

Instagram、facebookで投稿募集中。

#おうちピオトープ



蝶が来ました



合言葉は

「多摩区にエコの種を蒔こう」

多摩区まちづくり協議会 多摩エコスタイルでは、毎年「緑のカーテンを作ろう ゴーヤの育て方」講習会を開催しています。講師は川崎市緑化センター・元緑化相談員の佐久間 哲さんです。

今年も34名がゴーヤの育て方、園芸に関するポイント等を学びました。この夏は緑のカーテンで涼しく、エコで快適な暮らしを進めていただけるようゴーヤの種を配布しました。



川崎市外でうちエコ診断!!

イオンリテール茅ヶ崎中央店で6月の土日4日間、従業員やお客様あわせて約100名にうちエコ診断を実施しました。

6月の環境月間にちなんで開催された千代田区役所の環境・リサイクル祭では来場者約10名に15分の簡易うちエコ診断を行いました。いずれも省エネ効果のある手堅い対策を助言しました。



第19期 川崎市地域環境リーダー育成講座 (実践編)

川崎市では地域環境リーダー育成講座の後半部分となる実践編を9月3日から開催します(全5回)。今年度からは、既に地域環境リーダーである方も学び直しとしてご参加いただけます。詳しくはウェブページ「地域環境リーダーの部屋」を確認してください。申し込みは8月20日までに川崎市環境調整課へ。

実践編応募先

川崎市環境局環境調整課
電話: 200-2387
メールアドレス: 30kantyo@city.kawasaki.jp



地域環境リーダー育成講座 (入門編)



エコちゃんず通信 No. 26

2016. 7. 20 発行

エコちゃんず通信は、CC かわさき交流コーナーにある川崎市地球温暖化防止活動推進センターのニュースレターで年4回発行します

平成28年度 環境出前授業 市内小学校で実施中

川崎市地球温暖化防止活動推進を中心に組織されている「省エネグループ」、「3R推進プロジェクト」、「グリーンコンシューマーズグループかわさき」、「ソーラーチーム」「環境教育・学習開発実践プロジェクト」、および当センタースタッフが、川崎市内の小学校5年生を対象に地球温暖化防止に関する14種類の環境出前授業を行っています。



川崎市内の地球温暖化防止への取り組みを学ぶ



おひさまはエライ!



地球温暖化とは



混ぜればごみ、分ければ資源



「川崎市気候変動適応策基本方針」策定!

地球温暖化対策は、温室効果ガス排出量を削減する「緩和策」に引き続き着実に取り組んでいくことが大切ですが、川崎市も含めてすでに気温上昇が現れており、今後避けられない影響に対する「適応策」にも取り組む必要があります。このため川崎市では、「適応策」の取組の基本的な考え方をまとめた「川崎市気候変動適応策基本方針」を策定しました。

基本的な方針	国の「気候変動の影響への適応計画」が示す7分野に適切に対応し、特に本市が取り組む重要項目	本市が独自に取り組む項目
市民が健康で快適に暮らし続けることができる持続可能なまちづくりに向け、本市の実情や特性等に応じた気候変動適応策に取り組んでいく	<ul style="list-style-type: none"> ●暑熱対策 (ヒートアイランド対策含む) ●治水・水害対策 ●熱中症対策 ●感染症対策 	<ul style="list-style-type: none"> ●産業の振興等の視点からの適応の取組 ●適応策に関する理解の向上 (環境学習・普及啓発)

方針の詳細と本市の気候変動を解析したレポートについては、市HPをご覧ください。

基本方針 <http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000077604.html>

レポート <http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000075164.html>



編集後記

夏から秋は、イベントシーズン到来です。少しでも楽しく「環境問題」を身近に感じてもらいたいとの思いから、川崎市の推進員さんを中心に、「バルーンアート」に取り組んでいます。

詳しくは、当センターのFacebookをご覧ください。



※川崎市地球温暖化防止活動推進センターは、川崎市から指定を受けた認定 NPO 法人アクト川崎が運営しています。

【開館日】火曜日～日曜日 午前9時30分～午後5時30分 【閉館日】月曜日ただし第3月曜日が祝日の場合は、翌日も閉館

4月の テーマ展示

「食」～地産地消と食品ロス～

「食」をテーマに“地産地消”と“食品ロス”をコンセプトに展示と講座を開催しました。展示では、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品ロスや、賞味期限・消費期限がせまっているために値引きシールが貼られた食品を買って食べるフードレスキュー等に関する様々なパネルに加え、参加型展示として“CO₂ダイエットかご”によるカレーを作る買い物ゲームも用意しました。多くの子どもたちがこのゲームを通して、地元で生産されたものを食べる地産地消は輸送によるエネルギー消費が少ないので、温暖化の原因となるCO₂の発生が少なくなることを体感して学ぶことができました。子ども達にも遊びを通して学習していただく機会のひとつとなりました。

また4月14日に開催された講座では、グリーンコンシューマグループかわさきを講師に迎え、買い物から調理・後片付けの一連の作業や体験を通して「食」を考える「カレーで温暖化防止！」を開催。参加者の約4割は男性、乳幼児も含め幅広い年齢層となりました。もちろん、カレーの試食も大満足、楽しく、美味しくエコショッピングクッキングを学習しながら好評のうちに終了しました。



6月の テーマ展示

市民と事業者の環境の取組み

市内の環境をテーマとした市民団体15団体の1か月間のパネル展示は、他ではなかなか見ることが出来ない川崎の活動の層の深さを感じるものでした。川崎市の環境の賞や認定事業の紹介のほか、臨海部企業や高津区内企業の取組も紹介しました。

6月28日に開催された第4回「エコ・クロスマッチング」は、市民団体のポスターセッションから始まり、熱心にお互いの活動を聞き入る姿が印象的で、緊張感と一体感が生まれました。次に会場を変えて、川崎市の環境に係る各賞を受賞された事業者4社の取組の紹介とクロストーク。クロストークの内容は、参加者も聞きたい内容が盛り込まれ、とても興味深いものでした。

改めて、川崎は環境に取り組む事業者、市民団体が多いことを実感しました。参加した方からも、「川崎でこんなにいろいろな活動がされていることを知って、素晴らしいと思いました。もっと広めたいですね」との感想をいただきました。



5月の テーマ展示

「水」～水の循環と雨水利用～

5月は「水」をテーマに「水の循環」(水はどこからきてどこへ行くのか?)や「雨水利用」、近年度々発生する洪水などに対する川崎市の対策等をわかりやすく展示しました。また、床には大きなすごろくを設置し、多くの子どもたちが大きなサイコロで楽しく遊ぶ姿がみられました。

5月28日には、昔ながらの遊び、すごろくで「水の循環」を学ぶ、「あまつぶぐるぐるすごろく大会」を開催。

最初にクイズで地球温暖化について学び、その後、保護者と子ども16人で和やかながらも真剣にすごろく大会が行われました。上位の参加者には、賞状と賞品が贈られました。いまだきの子ども達にはあまり馴染みのないすごろくですが、とても楽しくかったとの感想が多く寄せられました。



エコハウス 講演会

6月5日に「エコハウスに暮らす」のテーマで、講座を開催しました。「エコハウスに暮らす」は、高断熱・高气密の建築物に太陽光発電、太陽熱温水器などの設備を完備した住宅に暮らした1年間の体験について、室温データとエネルギーデータの実測値を示して講演が行われました。

図1は、今年2月の1週間の温度データです。外気温が0℃の朝、前日17時～21時まで暖房していた居間では19℃、まったく暖房をしていない北部屋では18℃でした。

図2は、年間エネルギー収支です。電気・ガスの使用量を熱量に換算して、使用した熱量と太陽光発電施設(4.1kW)で発電した熱量を比較しました。消費したエネルギーと創エネによって作り出されたエネルギーがほぼ等しい「ゼロエネルギーハウス」が実現しました。

エコハウスは、心地よい温熱空間ができたことで「快適な暮らし」となり、エネルギー消費がネットでゼロ、光熱費は大幅な収益となりました。

